

# CODE OF CONDUCT

2024年度版



**ROLEX**

# 目次

- 04 序文  
範囲  
原則と価値観
- 05 責任ある雇用主  
健康と安全  
ハラスメント  
インクルーシブで公正な労働環境  
個人データ
- 07 企業倫理  
企業の機密保持  
汚職  
利益相反  
公正競争  
マネーロンダリングとテロ資金供与  
人権
- 10 環境
- 11 行動規範の実践  
従業員の個人責任  
行動規範の不遵守

## 社員各位



ロレックスは、私たちの一つひとつの取り組みを動機づけ、私たちのアイデンティティを定義づける基本的価値観、つまり、品質への飽くなき探求、革新の精神、卓越性の追求を基盤として成り立っています。ロレックスの歴史を通じて非公式に受け継がれてきたこれらの原則を、今回この行動規範に示します。持続可能性という重要な課題に直面し、私たちは、創業以来当社を形作ってきた価値観、倫理観、社内基準を記すことで、私たちの取り組みをこの文書において正式に表明することが極めて重要だと考えました。

この行動規範は、当社のグローバル・サステナビリティ戦略の一部を成すものです。ロレックス、その従業員および社外関係者が、倫理的で責任ある企業行動に共同で取り組むための枠組みを規定しています。

ロレックスの基本的価値観に基づき、健全な職場環境、事業活動における誠実さ、当社の行動様式の維持などを提唱しています。

スイスおよび海外のすべての関連会社で配布、適用し、当グループのすべての従業員にこの規則を遵守することを義務づけています。

この行動規範をよく理解し、関係者と共有し、私たち一人ひとりの個人的責任において、その原則を遵守し続けていただくようお願いいたします。

私たちに共通するビジョンへの皆様の取り組みに感謝いたします。

Jean-Frederic Dufour  
(ジャン=フレデリック・デュフォー)  
Chief Executive Officer  
Rolex SA

## 序文

永続すべく作る – ロレックスの哲学は、卓越性と革新の価値観および持続可能性のコンセプトに基づいています。この哲学はまた、厳格な倫理的枠組みの一部でもあり、その主要原則はこの行動規範に定められています。ロレックスとその運営機関が採用している持続可能性への取り組みに欠くことはできません。これは責任ある企業行動に対するロレックスの取り組みを補完するものです。この行動規範は、特に世界人権宣言、OECD多国籍企業行動指針、国連の持続可能な開発目標に基づいています。内部的には、関連規則、および当社の取引先のこの分野における取り組みを正式に表明する持続可能な開発憲章によって補足されています。

### 行動規範の範囲

この行動規範は、ロレックスと社内外の従業員が当社の企業責任を果たすことを正式に表明するものです。この規範は、スイスおよび海外のすべてのグループ企業に配布、適用されます。また、適用される法律を遵守するものとします。

各従業員はこれを尊重することを約束します。

### 基本理念と価値観

この行動規範の原則は、ロレックスが活動する上での倫理的枠組みを形成しています。その原則とは、健全で良い刺激をもたらす職場環境の促進、事業経営における誠実さ、そして環境保護に関するものです。

ロレックスの従業員はブランドアンバサダーです。したがって、従業員の言動は行動規範を遵守し、以下のロレックスの基本的価値観に沿うものでなければなりません。

- **卓越性:** 最大限の厳格さをもって、完璧を理想として業務に取り組む。
- **品質:** この要件を製品に、そしてすべての活動において日常的に適用する。
- **革新:** 新たな技術と革新的なソリューションを開発する。
- **持続可能性:** 会社のバリューチェーンをより持続可能で責任あるものに変えていく。
- **ソフトスキル:** 敬意と善意をもって協力する。

## 責任ある雇用主

### 健全で、互いを尊重し、働きがいのある職場環境の創造

#### 職場における健康、安全、福利の促進

従業員の福利には以下が含まれます。

- 従業員一人ひとりの自己啓発を促す環境と労働条件の整備。
- フレキシブルな労働時間。
- リスクの特定。
- 労働災害や疾病の予防。
- 個人の尊厳の侵害(例えば心理的または性的ハラスメント)などの身体的および心理社会的リスクの防止。
- 個人的に困難な状況にある従業員への配慮と支援。
- 啓発および研修への取り組み。

ロレックスは、その基本的価値観に則り、すべての従業員の身体的、精神的、感情的福利を促進する、健全で安全かつ互いを尊重する職場環境を創造します。これを実現するために、ロレックスは従業員の充足感を支援する方針、プログラム、リソースを導入し、継続的な改善プロセスに取り組んでいます。

#### ハラスメントの撲滅

性質や手段にかかわらず、ハラスメントには、個人を不安に陥れたり、軽蔑したり、孤立させたり、排除したりすることを意図したあらゆる言動が含まれます。この観点から、ハラスメントは、関係者間の上下関係にかかわらず、意図的な敵対行為の一種です。

当社はいかなる形態のハラスメントをも容認せず、期待される言動に関する明確なガイドライン（関連する社内規定に記載）を通じて認識を高め、こうした状況を防止するための措置を講じています。ハラスメントは懲戒処分の対象となり、多くの国では刑事訴追の対象となります。

#### インクルーシブで公正な労働環境の醸成

インクルーシブかつ公正な環境とは、特に機会および待遇の平等、ならびに、性別、宗教、民族的出自、年齢、性的指向、いかなる種類の障害、または法律で保護されている範囲内のその他の特徴にかかわらず、あらゆる形態の差別と闘う取り組みに基づくものです。

ロレックスは、多様な経験、視点、才能が会社にとって貴重な資産であることを認識しています。その結果、従業員は会社から差別のない公正な待遇を受けることができます。全従業員はまた、誰もがその潜在能力を発揮し、個人的にも職業的にも会社の成功に全面的に貢献できる環境からの恩恵を受けます。

#### 個人データの保護

個人データの保護には、厳格なセキュリティプロトコルと、関係者が個人データを閲覧、修正、削除する権利を有することを確認する情報閲覧方針が必要です。明示された目的に必要な個人データのみを収集、処理、使用することができます。

ロレックスは、特定の手順を実施することにより、すべての関係者の個人データを保護し、関連する法規定に従ってそれを収集し、処理する義務を負います。

## 企業倫理

### 誠実さ、責任、透明性を伴う行動

#### 業務上の機密保持の徹底

従業員は、口頭または書面、あるいはその他の方法で伝達される、科学的、技術的、商業的、財務的、あるいはその他の性質の、有形または無形の情報に対して責任を負うものとします。

ロレックスは、事業の機密性を保持するための技術的および組織的措置を講じています。これには、特にソーシャルメディア上における、社内の専門的な内容の投稿や共有の禁止も含まれます。従業員は、ソーシャルメディアや個人のウェブサイトにおいてブランドの行動規則を遵守するとともに、会社の評価の完全性を確保する義務を負っています。この裁量によって、当社のステークホルダーのノウハウ、業務上の機密事項、完全性が守られます。

### 汚職行為の拒絶

汚職は、当社が事業を展開している国の刑法が適用される一般的に認められる犯罪です。特にスイスの刑法は、スイスまたは外国の公務員の汚職、私人の汚職、便宜の供与を禁じています。これには、従業員が職務の遂行において、その職務に違反して、または自らの裁量により、行動すること、あるいは行動しないことを目的として、従業員に直接的または間接的な便宜や贈答品を提案したり、約束したり、提供したりすることが含まれます。概して、便宜と引き換えに、ある行為を行う、または行わないよう相手に影響を与えようとする願望によって定義づけられます。

この観点から、ロレックスはいかなる種類の汚職も禁じます。買収されたり汚職に関わったりすることのないようにするのは、各個人の責任です。ロレックスは、この責任ある原則を共有し守るために、積極的な役割を果たすことを従業員に求めます。ロレックスは汚職に対してゼロトランスの方針を採用しています。汚職行為はロレックスの企業倫理に反するものです。なぜなら、影響力と引き換えに提供されるあらゆる種類の便宜によって、人の意思決定の中立性が損なわれる可能性があるからです。

ロレックスの反汚職方針に加え、当社の従業員は贈答品や便宜を求めてはなりません。さらに、贈答品を贈る場合は、それが適用される社内規定に記載された金額を超えない、要請されたものではない自発的で慣習的な贈答品であることを確認しなければなりません。

### 利益相反の防止

利益相反とは、従業員が会社の利益を損なうような選択をすることにつながりかねない個人的な関係の存在により定義づけられます。これは特に、潜在的なビジネスパートナーや従業員を選出する際に起こり得ます。従業員と会社の利益を守るために、ロレックスは利益相反の管理に特別な注意を払っています。当社は市場整合性と健全な競争を保証しています。これは、ロレックスの従業員による意思決定が個人的な利害に左右されないことを意味します。従って、客観的で透明性のある基準による意思決定を促進しています。



### 公正競争の促進

不公正な慣行には、優越的地位の濫用、価格操作、市場配分、生産または販売割当などの反競争的行為を伴う談合、競争を制限するその他のあらゆる形態の企業間の談合、過度の市場集中につながる取引、誤解を招く広告、ダンピング、国庫補助金、知的財産権の侵害などが含まれます。

ロレックスは、事業活動における利益相反の防止に努めるのと同様に、準拠法に従い、公正、自由、公平な競争を保証するために、同業者や取引先との健全な関係と信頼を維持するあらゆる取り組みを行っています。

### マネーロンダリングおよびテロ資金供与の撲滅

マネーロンダリングは、犯罪的または非合法的な方法で得た資金を合法的な活動に再投資することで、その出所を隠す取引と定義されます。テロ資金供与との闘いは、実行犯に活動を遂行するために必要な資金を提供しないことを目的としています。

ロレックスは、関連する法的規定に従って、マネーロンダリングおよびテロ資金供与に関連するリスクを防止・特定するための組織的措置を実施しています。ロレックスは、従業員にこの件に関して特に警戒するよう求めます。

### 人権の支援

人権は、強制労働、人身売買、虐待、平等、あらゆる形態の差別とハラスメント、集会と結社の自由の権利の侵害、適正な労働条件（特に健康と安全に関するもの）の権利など、多くの分野に及びます。

ロレックスは、その活動の性質上、また責任ある購買方針に基づき、その活動が人権を遵守して行われることを保証します。この観点から、従業員はサプライチェーン全体を通じて警戒する義務を負います。

## 環境

### 天然資源の保護に取り組み、 持続可能性を活動の中心に据える

卓越性の追求において、ロレックスは日々、環境パフォーマンスの向上に努めています。これに関連し、環境保護は当社の主要な関心事です。

ロレックスは、責任を持って事業を遂行することにより、自然保護に取り組んでいます。これには、環境への影響を低減することを目的とした継続的な改善プロセスの実施も含まれます。

ロレックスは、すべての人がこの取り組みの重要性を認識し、言動や事業上の意思決定を通じて貢献することを求めます。

ロレックスは、耐久性に優れ、生涯にわたって手入れできるように設計された製品を製造しています。さらに当社は、エネルギー消費を管理し、自社の活動に使用される天然資源を保護するために、あらゆる取り組みを行っています。ロレックスは、二酸化炭素排出量、廃棄物、大気質、化学物質、水、モビリティ、生物多様性を監視するために、さまざまなパフォーマンス指標を導入しています。

また、可能な限り汚染物質の排出を削減するための対策も講じています。トレーサビリティにおいては最も厳しい基準を適用しています。調達から製造、流通に至るまでのすべての分野において、ロレックスはバリューチェーン全体を通じて従業員と連携しています。

## 行動規範の実践

### 従業員の個人責任

個人レベルでは、従業員は本規範に定められた原則を尊重し、遵守しなければなりません。

すべての従業員は、その責任や職務にかかわらず、行動規範に違反する行為があった場合には、ラインマネージャー、人事部、または Rolex.com からアクセスできるオンライン通報システムを通じて報告しなければなりません。

### 行動規範の不遵守

行動規範を遵守しなかった場合、ロレックスは、社内規則に従い、また 準拠法を遵守し、適切な措置をとり、違反の重大性に応じた制裁を適用します。

Version	日付	改訂
1	2024年3月	行動規範初版。
2	2024年4月	「従業員の個人責任」の項で ロレックス通報システムに言及。